



シルバーおやべ

第 49 号
令和 3 年 1 月 10 日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67-4804
FAX (0766) 67-5515
<https://oyabe-sjc.jp/>



今石動城跡からの眺望



初春
辛丑元旦

シルバーウォーキングにて



令和 2 年度 安全就業スローガン
ひと呼吸 心の余裕が 事故を防ぐ

シルバー人材センター理念

シルバー人材センターは、

《自主・自立、共働・共助》

を理念とし、会員自らが運営に参画する組織です。

会員数 345名 (男性210名・女性135名) 令和2年12月31日現在



設立三〇年、環境の変化に対応し、 魅力あるセンターを目指そう

理事長 柴田敏秋

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お仕事を発注いただいている皆さまには、旧年中のご愛顧に対し、心からお礼申し上げます。

当センターは、平成四年四月に社団法人としてスタートして以来三〇年という節目の年を迎えました。この間、会員の皆さまには、地域住民が地域社会を支えるという形で、市内のご家庭・企業・公的団体などお客さまの様々なニーズに応えるお仕事を地道に積み重ねてこられました。お陰様で、会員の皆さまの真面目で丁寧な仕事ぶりがお客さまから認められ、当センターは、安心して気軽に仕事を頼める場所として信頼され、概ね順調に推移してまいりました。

ところが、昨年二月頃からコロナ騒ぎが大きくなり、当センターをめぐる環境が大きく変化しました。事業所の見直しや施設の一時休業などが行われ、加えて公共施設の統廃合による就

業先の閉鎖が進み、大きな打撃を受けました。

「七〇歳就業法」も四月から実施されます。

今まさに当センターは、このような環境の変化に、しなやかに対応していけるかどうか、新時代におけるセンターの発展方向を見据えながら、積極的にセンターの課題に取り組み、会員・役職員が力を合わせて、変革や改善を進め、地域の皆さまにとっても、小矢部市にとっても、会員の皆さまにとっても、一層頼りになる、魅力あるセンターになることができるかどうか、その瀬戸際に立たされている感じがいたします。

今年は、丑年であります。子年に蒔(ま)いた種が芽を出して成長する年、一步一步着実に物事を進めることが将来の発展に繋(つな)がる年であると言われます。関係の皆さまのご指導、ご支援、ご協力を賜りながら、しっかりと取り組んでまいりたいと存じます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます

理事長	柴田敏秋
副理事長	中村利夫
専務理事	清水功一
理事	居島啓二
松本彦次	
高西久文	
本田昭記	
山口善嗣	
忠田勉	
山田操	
高田千里	
谷博道	
山元一豊	
田村栄子	
金岡亨子	
山田富雄	
事務局職員一同	

シルバーの日

令和2年10月7日(水)

(交通安全講習会)

令和2年10月7日、クロスランドおやべにおいて小矢部警察署交通課長長谷部秀朗氏を迎え県下及び市内の事故状況や高齢者の交通安全について説明がありました。



(ボランティア活動)

交通安全講習会の後は、ラジオ体操で体をほぐし約80名でクロスランドおやべパターゴルフ場と総合保健福祉センター周辺の清掃活動を行いました。



(会員のつどい)

ボランティア活動終了後、会員互助会から弁当とお茶が配布されました。

例年であれば、会員同士の交流の場になっていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会食は中止となりました。





ごあいさつ

小矢部市長

桜井 森夫

新年明けましておめでとうござい
ます。会員の皆様におかれましては、
健やかに令和3年の新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

日頃より、市政発展に格別のご理
解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
また、施設管理等の行政
サービスの一翼を担っていただいて
おりますことにも、深く感謝申し上
げます。

シルバー人材センターにおかれま
しては、就業機会の提供やボラン
ティア活動など、様々な社会参加活
動を通じて、本市における高齢者
の「健康で生きがいのある生活の実
現」と、「地域社会の福祉の向上及
び活性化」に對しまして、多大なる
ご貢献をいただいております。近年
は、介護予防・生活支援事業や空き
家の見守りサービスなど、時代に即
したサービスも展開されておられま
すことから、今後についても、市民
生活における利便性をより一層高め
るような取組を期待しているところ
です。

本市は、「魅力・安心・充実し
あわせ おやべ」を第7次総合計画
に掲げる「心がやすらぐ健康とあた
たかな福祉で支え合うまち」の実現
に向け、市民の誰もが心身ともに健
康に、ともに支えあう温かな福祉環
境の中で暮らすことができるまちづ
くりを目指して参りたいと考えてお
りますので、皆様方には、どうぞ今
後ともご尽力を賜りますようお願い
申し上げます。

昨年は、まさに新型コロナウイルス
に翻弄された一年でございました。
未だ終息の気配は見られず、不
安は募るばかりでございますが、市
民の皆さんに、安全でそして安心
な生活を送っていただくためにも、
しっかりとこのコロナ禍を乗り越え
て行かなければいけないと、強く
思っている次第でございます。

結びに、貴センターのさらなる飛
躍と、会員皆様のますますのご健勝
とご多幸をご祈念申し上げます。新
年のごあいさついたします。

小矢部市等への支援要請について

令和2年11月5日に小矢部市長桜井森夫様、小矢部市議会議長藤本雅明様へ令和3年度の運営・事業費補助金の予算等の要望を柴田理事長に中村副理事長、清水事務局長が同行し、行いました。藤本議長への要望時には、副議長加藤幸雄様に同席いただきました。

11月24日には、小矢部市商工会長新明政夫様、小矢部市企業協会長渋谷武様に対し、地元企業等への業務拡大、新規事業開拓の要望を柴田理事長、中村副理事長、清水事務局長が行いました。

また、12月7日には小矢部園芸高等学校校長島田誠治様へ、同校専攻科生徒への当シルバー人材センターへの入会・就業紹介の場の設定を中村副理事長、高西業務委員長他2名の業務委員、清水事務局長が要望しました。本年は、剪定や雪吊り作業の分野だけではなく、様々な分野で会員を募集している旨説明しました。



高岡市シルバー人材センター「シルバーふれあい市」を訪問

他市のシルバー人材センターの多くが取り組んでいる独自事業を小矢部でも取り組めないかと、高岡市シルバー人材センターが取り組んでいる「シルバーふれあい市」を見学に行った。

令和2年10月19日柴田理事長ほか6名で訪問。高岡市シルバー人材センターでは山達理事長以下役員、スタッフの方々のあたたかく親切な説明を受け、取り組みの熱意に感銘を受けた。

○高岡市シルバー人材センター独自事業「シルバーふれあい市」の概要

開催日時 毎週月、水、金の10時～13時
 開催場所 ふれあい福祉センター玄関横
 販売品 野菜・果物・花など、手作り小物（服装雑貨類）
 運営方法 会員専任スタッフ2名、会員ボランティア4名で運営
 その他 毎週木の11時～13時 御旅屋通り（わろんが）前で野菜などを販売
 事業効果 会員の就業機会の創出、拡大、市民との交流機会の創出、入会促進

実際の「ふれあい市」開催状況を見学し、会員の商品搬入から販売、そして市民が購入に來所する状況まで見学できた。

訪問を終えて 平成26年10月に商店街でのアンテナショップの立ち上げからこれまでの道のりに大変な苦労されたことを感じた。

運営に携わる方々（役員、スタッフ、ボランティア、出品者）みなさんが生き生きと情熱を持って取り組まれていることに感心さ

せられた。

また現在センター事務所が入居されているふれあい福祉センターの立地場所が非常によく、うらやましく感じた。

1年前羽咋市シルバー人材センターを訪問し、独自事業も見学し、熱心な取り組みに感心したが、当小矢部市シルバー人材センターも独自事業を是非立ち上げべきだと思った。

（H・T）



安全管理委員会だより

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

先般、県連合会安全適正就業指導員の斉藤重之氏と共に安全就業について話し合い、事故発生状況や県全体との比較等をお聞きし、事故の多さに驚きました。安全就業はシルバー事業の実施にあたって根幹をなすものです。

【安全はすべてに優先される】をモットーに「転落事故を起こさない」、「飛石対策の実施」、「安全パトロールの強化」を活動方針としてすべての会員が一丸となって安全就業の推進に取り組み、会員それぞれが健康で生きがいのある生活保持並びに信頼されるシルバー人材センターの構築に努めて参りたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

最後になりますが、今年一年の会員の皆様の健康とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。
安全管理委員会 委員長 本田 昭記



事故発生状況（令和2年4月～11月）

飛石 2件 (機械刈)	窓ガラス 破損1件 (剪定)	アキレス腱損傷 1件 (屋内作業)	アキレス腱断裂 1件 (植栽管理)	ハチ刺され 1件 (剪定)	肋骨骨折など 1件 (植栽管理)	打撲及び捻挫 1件 (在庫整理)
-------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	---------------------	------------------------	------------------------

今年度の事故については、発注者の指揮命令下にある派遣就業での事故が全体の8件の内4件となっており、例年に比べ増加しています。また、傷害事故については入院が必要となった事故が多く発生しています。これからの冬の時期については、凍結による転倒事故などにも十分に注意しましょう。

独自講習会開催

剪定作業において就業している前田與志廣会員に講師となっただき9月に剪定講習会、10月に雪吊り講習会を実施しました。今回は、剪定作業等に従事する経験の浅い会員の方を対象にスキルアップを目的としマツの剪定、雪吊りにおいては縄の縛り方から実際の吊り方までの講習を行っていただきました。今後も継続して講習会を実施し、より多くの方に受講していただき、剪定作業等に従事していただける方の拡大に努めていきたいと思っています。

剪定講習会 令和2年9月17日(木)



雪吊り講習会 令和2年10月15日(木)



互助会だより

シルバーウオーキング

「前田家ゆかりの城跡と神社を訪ねて」に参加して

子撫地区 高瀬 恵美子

10月17日土曜日、生憎の曇り空。年に数回はトレッキングに参加していたけれど、コロナ禍の今年は中止。今回の今石動城址頂上（標高187m）に登るのが今年初の山行き。久しぶりのことで、ワクワクしながら集合場所（総合会館駐車場）へ。お世話いただいた吉田外茂治さんの挨拶の後、出発し、最初の目的地の愛宕神社へ。

愛宕神社では、宮司の奥様の説明を受け、本殿にお参りし、続けて、消防神社、城山公園へと歩を進めます。観光ボランティアであり、シルバー会員でもある橋本政子さんの案内・説明に聞きながら、道中目にする景色や山野草に癒されました。

山頂は、城址付近の樹木が伐採されていて、市街地が眼下に広がり砺波平野を一望。（稲葉山から望む景色にも匹敵で驚き！）遠くは新湊港も目にすることができました。曇り空が良かったそうです。

跡地は、数日前まで背丈ほどもある草が生い茂り、シルバー会員の草刈チームが刈り取られたとのこと。（おかげ様で足元が軽やかに歩けています）参加者の中に草刈作業をしたメンバーの方がおられ、その時の苦労話も伺い、仕事とはいえ大変だなと思いました。初めて登った今石動城址頂上や近隣の名所旧跡を訪ね、知識も得て、当時の人々の暮らしに思いをはせ、参加された方々とも話が弾み、心地良い汗をかき、楽しい時間をいただいた感謝の一日でした。



同好会を作りませんか？

会員互助会では、会員相互の交流の場として各種同好会の結成を呼びかけています。皆様の趣味や興味を活かして仲間を募ってみてはいかがでしょうか？
発起人になっても良いという方がおられましたら、事務局までご連絡下さい。

会員からの投稿

▼先日シルバー人材センターから書類が送られてきた。今まで何気なく気にもとめなかったが、これまでのどの案内の封筒にも シルバーのキャラクター「知恵ぶくろー君」が載っており、またキャッチコピーの「知恵」の輪、「人」の輪、「社会」の輪とも記載されている。それらから改めてシルバーの意義や役割を感じとった。▼私たちは高齢者だ。ともすれば濡れ落ち葉だ、粗大ゴミだとも言われかねないが、長年生きてきた知恵と経験がある。その「知恵」をシルバーのような「輪」に入って多少なりとも「社会」に役立つべきだと、自分なりに解釈した。▼ところでその社会で役立ち続けるためには健康が第一だ。今は新型コロナウイルスの感染予防が叫ばれているが、感染予防はもちろん、他に持病のある人もうまくコントロールし悪化させず少しでも長く元気であることだ。▼以前「フレイルを防いで健康寿命を延ばそう」というパンフレットをもらったことがある。フレイル（虚弱）とは高齢で介護が必要になる一歩前の状態とのこと。そう成らないためには食事、運動、外出が大事であった。特にパンフレットの中に「社会参加で外出の機会を増やそう」の記載が目にとまった。▼シルバーでの仕事はその社会参加になりフレイル予防の一つだ。▼少しでも長く元気で、自分の少ない知恵袋がお役に立つよう頑張りたい。（H.T）

ほのぼのコーナー

今回は健康麻雀で頭や指先を使うことが認知症予防やとおっしゃる上田政信さんにQ&Aでお聞きしました。



菟波地区
上田政信 会員

Q1 健康麻雀をなさっていますが、頻度は？

A1 毎週土曜日菟波公民館で開かれていて、ほとんど参加しています。

Q2 参加のお仲間は何人ぐらいですか？

A2 常時3～4卓ですから12～16人ぐらいです。

Q3 健康麻雀の魅力は？

A3 やはり頭や指先を使うことでボケ防止にもなるし、もちろん、吸わない、飲まない、賭けないですから健康にもいいですよ。それと、地元の方との仲間作り、コミュニケーションですかね。

Q4 新型コロナの心配は？

A4 換気をし、マスクをし、みんなで十分気をつけています。

Q5 腕前は？

A5 そりゃ、上位といたいけど ぼちぼちやちゃ。

Q6 そのほかに何か趣味はありますか？

A6 ウォーキングですね。毎日4～5キロ、雨でも風でも欠かさず行っています。休まないことが自慢です。

Q7 シルバーではどんな仕事をしておっしゃいますか？

A7 津沢コミュニティで夜間受付をしています。

Q8 大変お元気ですが、健康の秘訣はやはり健康麻雀ですか？

A8 もちろんと言いたいですが、一番はシルバーの仕事で、それにより生きがいを感じるし、生涯現役という気持ちで日々頑張っていることだと思います。

地区連絡員としても菟波地区をまとめている上田さんでした。ありがとうございました。

(インタビュー 広報委員 谷 博道)

法人設立30周年記念事業について(概要)

記念事業実行委員会では、以下の記念事業を開催することといたしましたのでお知らせいたします。なお、

記念事業

①記念誌発行

②記念式典

【第1部】式典

日 時：令和3年10月22日(金) 9時30分開始

場 所：クロスランドおやべ セレナホール

※出席者にはポイント進呈

【第2部】記念講演

日 時：令和3年10月22日(金) 11時00分開始

場 所：クロスランドおやべ セレナホール

講 師：相本芳彦氏(元KNBアナウンサー)

③会員作品展

日 時：令和3年10月22日(金)

9時～17時

※作品の搬入及び展示準備：

10月21日午前10時から午後14時まで

搬出及び片付け：

10月23日午前9時から正午まで

場 所：アートハウスおやべ

展示作品：絵画、写真、書、手芸品、彫刻、盆栽など

※出品者にはポイント進呈

記念式典と同日に会員作品展を予定しておりますので、式典へのご出席と作品展へのご出品にご協力をお願いいたします。

記念事業実行委員会 委員長 中村 利夫



あとかぎ

追記
当誌では会員の皆様の仕事や生活、話題など何でもかまいませんので、寄稿、投稿をお待ちしています。皆様で作る、皆様の、皆様による、皆さんのための会報誌でありたいと思いますのでよろしくお願ひします。

今年もよろしくお願ひします。
広報委員会 委員 谷 博道

行事案内

●地区懇談会

とき 2月上旬頃を予定
場所 各地区

●安全就業講習会

とき 3月5日(金)
午後2時から
場所 クロスランドおやべ
メインホール

※詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。

